

一般社団法人日本DPO協会の検定試験制度・資格認定制度について

2024年11月19日
一般社団法人日本DPO協会 教育事業部

第1 当協会の検定試験制度

1. 個人情報保護力量検定（スタンダード）

個人情報保護力量検定（スタンダード）	実施日・会場：CBT（Computer Based Test：全国300か所で365日受験可能）
受験費用：11,990円（税込）、 学割：9,990円（税込）	筆記式・短答式試験（試験時間100分・問題数50問・1問2点・100点満点） 合格率80%（予定：2025年1月リニューアル後）
対象者：社会人として必要なプライバシー保護・個人情報の取扱いに関する基礎知識の習得	
試験範囲：個人情報保護法・マイナンバー法の基礎、個人情報保護マネジメントシステムの基礎、実務対応のFAQ	

2. 個人情報保護力量検定（エキスパート）

個人情報保護力量検定（エキスパート）	実施日・会場：CBT（Computer Based Test：全国300か所で365日受験可能）
受験費用：11,990円（税込）、 学割：9,990円（税込）	筆記式・短答式試験（試験時間100分・問題数50問・1問2点・100点満点） 合格率65%（予定：2025年1月リニューアル後）
対象者：個人情報保護管理者（CPO）、個人情報保護監査責任者として備えるべき知識の習得	
試験範囲：スタンダードに加え、個人情報保護マネジメントシステム向上のための組織構築・運営知識（法令と要求事項の差分など）、CPO・監査責任者としての役割の理解、実務対応のFAQ	

学生から社会人の各ステージに必要な知識の習得とアップデートを

	対象者	合格のメリット
 ステップ アップ	個人情報保護管理者（CPO） 個人情報保護監査責任者	CPO、監査責任者として必要な力量を測る 事業者における適切な個人情報保護マネジメントシステムの構築・運用の設計、指導等が可能に
	プライバシー保護推進事務局	事務局の力量を測る 事業者全体での適切なプライバシー保護、個人情報保護の運用 教育ツールとしての活用 個人情報保護管理者、監査責任者を目指す準備
	部門管理職	自部門における適切なプライバシー保護、個人情報保護の運用
	実務担当者	実務での活用転職も有利に
	学生	社会適応の準備 就職活動の付加価値に

第2 当協会の資格認定制度

1. プライバシーホワイト（日本DPO協会認定データ保護実務者）（民間部門）

	プライバシーホワイト（民間部門）	実施日・会場：CBT（Computer Based Test：全国300か所で365日受験可能）
	受験料：一般9,790円（税込）、学生7,700円（税込）	筆記式・短答式試験（試験時間70分・問題数60問・1問1点・60点満点）合格率81.8%
	合格者像：グローバルな観点からプライバシー保護の基礎と、日本の個人情報保護法を学び、プライバシー保護業務で即戦力となる実務家	
	対象者：海外の個人データを取り扱う事業者や大企業のご担当者、プライバシーマークの個人情報保護管理者、個人情報保護監査責任者、部門担当者の方	

2. プライバシーホワイト（日本DPO協会認定データ保護実務者）（公的部門）

	プライバシーホワイト（公的部門）	実施日・会場：CBT（Computer Based Test：全国300か所で365日受験可能）
	受験料：一般9,790円（税込）、学生7,700円（税込）	筆記式・短答式試験（試験時間70分・問題数60問・1問1点・60点満点）合格率80%
	合格者像：プライバシー保護の基礎と、日本の個人情報保護法およびマイナンバー法を学び、プライバシー保護業務で即戦力となる実務家	
	対象者：国、地方公共団体、独立行政法人等において個人情報保護の業務に従事するご担当者の方	

3. プライバシーゴールド（日本DPO協会認定データ保護スペシャリスト）

	プライバシーゴールド	実施日・会場：2025年3月30日（日）・東京
	受験料：未定（2025年1月上旬公表予定）	筆記式・短答式試験（試験時間150分・問題数50問・1問2点・100点満点）
	合格者像：個人情報保護法・マイナンバー法からさらに進み、EUのデータ保護法、産業用データに関するEUデータ法、EU AI法、プライバシーガバナンスといったデジタル法のスペシャリスト	
	対象者：個人データ・非個人データを問わず海外のデータを取り扱う事業部門やコンプライアンス・法務・総務・人事部門等においてプライバシー保護の専門家として活動される方	

4. プライバシーブラック（日本DPO協会認定データ保護オフィサー）

	プライバシーブラック	実施日・会場：2025年夏（予定）・東京
	受験料：未定（2025年4月公表予定）	口頭試問
	合格者像：データ保護オフィサー（DPO）やチーフ・プライバシー・オフィサー（CPO）のように組織全体におけるプライバシー管理監督を統括する役割を担える人材	
	対象者：組織のグローバルプライバシーガバナンスを率いることができるDPO/CPOを目指す方およびDPO/CPOを実務上補佐する立場の方	

以上